

# 令和6年第6回定例教育委員会会議

開催日時 令和6年6月27日(木)  
午後1時30分から  
場 所 中央図書館 2階 視聴覚ホール

## 議 題

### 日程第一 議事事項

- 議案第17号 富士見市公の施設の指定管理者候補者審査委員会委員の委嘱及び任命について
- 議案第18号 富士見市公民館運営審議会委員の委嘱について
- 議案第19号 富士見市史跡水子貝塚保存整備委員会委員の委嘱について
- 議案第20号 富士見市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
- 議案第21号 富士見市立図書館指定管理者候補者の選定について(諮問)

### 日程第二 報告事項

- (1) 令和6年度事務事業点検・評価の実施について
- (2) 令和6年6月定例市議会の報告について
- (3) 令和5年度家庭学習応援事業の報告について
- (4) 富士見市公民館運営審議会の報告について
- (5) その他
  - ・第32回やなせ川いかだラリー

## 議案第17号

富士見市公の施設の指定管理者候補者審査委員会委員の委嘱及び任命について

富士見市公の施設の指定管理者候補者審査委員会委員を別紙のとおり委嘱及び任命する。

令和6年6月27日提出

富士見市教育委員会  
教育長 山口 武士

### 提案理由

富士見市立図書館の指定管理者候補者を審査するため、富士見市公の施設の指定管理者候補者審査委員会（富士見市立図書館）委員を委嘱及び任命したく、富士見市公の施設の指定管理者候補者審査委員会条例第3条第2項及び第11条の規定により、この案を提出します。

別紙

富士見市公の施設の指定管理者候補者審査委員会  
(富士見市立図書館)

(任期：令和6年7月29日～指定管理者の指定を行った日まで)

No.	氏名	所属等
1	石川 敬史	大学准教授 (図書館学)
2	堀切 久也	税理士 (財務専門家)
3	出井 隆志	図書館協議会 委員長
4	島田 良子	市民ボランティア (ストーリーテリング)
5	柳原 英子	市民 (学校司書)
6	小須田 恭子	市民 (学校司書)
7	荒田 和久	政策企画課長
8	中島 雄一	教育政策課長
9	岡 義朗	生涯学習課長

## 議案第18号

富士見市公民館運営審議会委員の委嘱について  
富士見市公民館運営審議会委員を別紙のとおり委嘱する。

令和6年6月27日提出

富士見市教育委員会  
教育長 山口 武士

### 提案理由

富士見市公民館運営審議会委員の任期が令和6年6月30日をもって満了となるため、新たに委員を委嘱したく、富士見市立地域公民館条例第7条の規定により、この案を提出します。

## 別紙

## 富士見市公民館運営審議会委員候補者名簿

(任期：令和6年7月1日～令和8年6月30日まで)

No.	氏名	所属等	館区
1	小谷 千佳子	子ども大学実行委員	鶴瀬公民館
2	小林 勝夫	元子ども家庭福祉審議会委員	
3	石谷 シズ子	埜歩歩富士見山の会	
4	黒澤 聡美	公募委員	
5	新井 充	元学校長	南畑公民館
6	坂間 道夫	行政経験者	
7	長堀 厚子	なんばたキッチン	
8	大竹 ひろみ	ちびっこあおむしスタッフ	
9	大槻 節子	公募委員	水谷公民館
10	三枝 晴子	水谷婦人会	
11	河野 豊	水谷公民館企画運営委員	
12	廣井 賢司	本郷中学校長	
13	森 靖幸	水谷東小学校長	水谷東公民館
14	星野 清一	熟年学級運営委員長	
15	井山 千鶴子	まちづくり協議会	
16	千葉 純平	おむすび少年団元指導員	

## 議案第19号

富士見市史跡水子貝塚保存整備委員会委員の委嘱について  
富士見市史跡水子貝塚保存整備委員会委員を別紙のとおり委嘱する。

令和6年6月27日提出

富士見市教育委員会  
教育長 山口 武士

### 提案理由

史跡水子貝塚の適切な保存及び整備並びに有効な活用について調査審議するため、富士見市史跡水子貝塚保存整備委員会委員を委嘱したく、富士見市史跡水子貝塚保存整備委員会条例第3条第2項の規定により、この案を提出します。

別紙

富士見市史跡水子貝塚保存整備委員会委員候補者名簿

(任期：令和6年7月1日～令和8年6月30日まで)

No.	氏名	所属等
1	阿部 芳郎	明治大学教授
2	佐々木 由香	金沢大学古代文明・文化資源学 研究所特任准教授
3	森屋 雅幸	淑徳大学准教授
4	大畠 仁	市校長会
5	和田 雅子	市文化財審議会
6	井上 麻美子	市民学芸員
7	鈴木 光男	ふれあいTAP
8	山口 好文	公募

## 議案第20号

富士見市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について  
富士見市学校給食センター運営委員会委員を別紙のとおり委嘱する。

令和6年6月27日提出

富士見市教育委員会  
教育長 山口 武士

### 提案理由

富士見市学校給食センター運営委員会委員の任期が令和6年6月30日をもって満了となるため、新たに委員を委嘱したく、富士見市学校給食センター設置条例第3条第3項の規定により、この案を提出します。

別紙

富士見市学校給食センター運営委員会委員候補者名簿

(任期：令和6年7月1日から令和7年6月30日まで)

No.	氏名	所属等
1	石井 勝博	諏訪小学校長
2	本木 千穂	針ヶ谷小学校長
3	廣井 賢司	本郷中学校長
4	丸山 丁士	東中学校長
5	南 文子	鶴瀬小学校学校給食主任
6	石田 優果	南畑小学校学校給食主任
7	小峰 夏子	関沢小学校学校給食主任
8	川崎 実紗	勝瀬小学校学校給食主任
9	山内 遼	富士見台中学校学校給食主任
10	鶴岡 健介	水谷中学校学校給食主任
11	與那覇 大地	水谷小学校PTA会長
12	今田 友美	ふじみ野小学校保護者教師の会会長
13	上野 直美	勝瀬中学校PTA会長
14	小嶋 友邦	みずほ台小学校PTA給食委員
15	小山 希	ふじみ野小学校保護者教師の会給食委員
16	森本 優子	西中学校PTA給食委員
17	日比生 秀一	日比生クリニック
18	天川 みな子	薬剤師会
19	湯尾 明	朝霞保健所長

## 議案第21号

富士見市立図書館指定管理者候補者の選定について（諮問）  
富士見市立図書館の指定管理者候補者の選定について別紙のとおり諮問する。

令和6年6月27日提出

富士見市教育委員会  
教育長 山口 武士

### 提案理由

富士見市立図書館の指定管理期間が令和7年3月31日をもって満了となるため、新たに指定管理者候補者を選出したいと、富士見市公の施設の指定管理者候補者審査委員会条例第2条及び第11条の規定により、富士見市公の施設の指定管理者候補者審査委員会の意見を求めたいので、この案を提出します。

富 教 生 第 号  
令 和 年 月 日

富士見市公の施設の指定管理者候補者審査委員会  
委員長 様

富士見市教育委員会  
教育長 山口 武士

富士見市立図書館の指定管理者候補者の選定について（諮問）

富士見市公の施設の指定管理者候補者審査委員会条例第2条の規定により、下記事項について貴委員会の意見を求めます。

## 記

### 1 諮問事項

富士見市立図書館の指定管理者候補者の選定に関する審議

### 2 諮問理由

富士見市立図書館の指定管理者候補者選定にあたっては、学識経験者や図書館運営関係者など、幅広い方々からご意見をいただく必要があるため。

## 令和6年度事務事業点検・評価の実施について

### 1 趣旨

事務事業の点検・評価については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき毎年度実施しており、第3次教育振興基本計画における全40施策の進捗管理に活用している。

### 2 点検・評価の実施方法

#### （1）担当課による点検評価

担当課において、取組みと成果、課題と今後の方向性を確認の上、総合評価（自己評価）を行う。

#### （2）学識経験者による外部評価

教育に関する学識経験者による外部評価を実施する。

##### 【対象施策について】

- ・ 第3次教育振興基本計画に基づく全40施策について、令和6年度から3か年をかけて外部評価を実施する。
- ・ 今年度は令和5年度の事務事業を対象に、主な14施策（別表参照）について外部評価を実施する。なお、第3次教育振興基本計画に基づく点検・評価は今回が最初となる。

○学識経験者 太田 政男 氏（元大東文化大学学長）  
東海林 恵子 氏（元市子ども未来部長）  
長ヶ原 美博 氏（元小学校長）

### 3 今後のスケジュール

7月19日 外部評価  
9月27日 教育委員協議会における報告書案の審議  
10月 教育委員会会議  
11月中旬 市議会へ報告・公表

<別表>令和6年度外部評価の対象施策

<b>基本方針Ⅰ 学びあい、高めあい、夢と希望をはぐくむ教育の推進</b>		
基本目標	施策	課
1 児童生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導による学力の育成	情報教育の充実	学校教育課
	読書活動の充実	学校教育課
2 多様性を認めあい、誰一人取り残さない教育の推進	教育相談体制の充実	教育相談室
	いのちを大切にする教育の推進	学校教育課
3 自らの健康・安全を守る資質・能力と健やかな体の育成	食育の推進	学校教育課
	安全・防災教育の推進	学校教育課
4 地域の教育力を生かし教育効果を高める学校教育の推進	学校・家庭・地域の連携	学校教育課
	学校施設・設備の整備	教育政策課
<b>基本方針Ⅱ 学びあう地域社会をめざす教育の推進</b>		
基本目標	施策	課
1 家庭・地域の教育力の向上	家庭教育の支援	生涯学習課 各公民館
2 生涯にわたる学習機会の提供と地域づくりの推進	多様な学習機会の充実	生涯学習課 各公民館
	学習成果の発表機会の充実	各公民館
3 暮らしとまちづくりに役立つ読書活動の推進	図書資料の収集と提供の充実	生涯学習課
4 郷土遺産の継承	水子貝塚資料館・難波田城資料館の充実	資料館
5 開かれた教育委員会	教育委員会会議及び教育委員協議会の活性化	教育政策課

令和6年6月定例市議会の報告について

1 教育委員会に係る議案等の審議結果（原案のとおり、可決）

（1）令和6年度富士見市一般会計補正予算（第3号）

《概要》

- ・ 難波田城公園城址ゾーン水堀の循環ろ過ポンプ制御盤に不具合が生じたため修繕を実施するもの
- ・ 蒸気式全自動煮炊釜1号機に不具合が生じたため修繕を実施するもの

2 教育委員会に係る市政一般質問

教育政策課

《宮尾 玲 議員》

1. 教育環境の充実について

- （1）給付型の奨学金制度の創設を

《今成 優太 議員》

1. 学校施設工事について

- （1）今年度実施する工事について  
（2）学校施設の使用制限について

生涯学習課

《佐野 正幸 議員》

1. 市民対応について

- （1）図書館の予約資料の受取・返却を鶴瀬駅でもできるように

学校教育課

《伊勢田 幸正 議員》

1. 学校教育について

- （1）学校の早朝開放について（豊中市の事例を参考に）  
（2）放射線副読本の活用について  
（3）政府拉致問題対策本部電子図書館の活用について

《関野 兼太郎 議員》

1. 子どもたちの健やかな成長を願って

- (1) 小中学校における健康診断について
- (2) 「朝の小1の壁」の実態は

《宮尾 玲 議員》

1. 教育環境の充実について
  - (1) クラブ活動費、PTA会費、卒業アルバム代を就学援助の補助対象に
  - (2) 品川区を参考に市内小中学校の学用品費の無償化を

《小川 匠 議員》

1. いじめ問題について
  - (1) 2023年度に市内の学校で発生したいじめ事案への対応について、どのように総括しているか
  - (2) いじめのない学校に向けた今後の取組は
2. 多文化共生社会の実現に向けて
  - (1) 外国籍の市民の相談や生活支援に町会、民生委員、母子保健推進員、学校などはどのように関わっているのか。また、市との連携の現状はどのようなになっているか
3. 市民要望について
  - (1) 学校での屋外行事の際の熱中症対策として、テントや遮光ネット等の設置を

《山下 淑子 議員》

1. 安心できる学校健康診断の環境整備の推進について
  - (1) 本市の学校健康診断の現状について
  - (2) 不登校児童生徒の健康診断について
2. 認知症を発症しても安心して暮らせる社会づくりについて
  - (1) 認知症の人への理解を深める体験型教育について

《佐野 正幸 議員》

1. 安全安心について
  - (1) 小中学生が自転車に乗る時のヘルメット着用の促進を

《加賀 奈々恵 議員》

1. 学校教育について
  - (1) 健康診断未受診者への対応について

《村元 寛 議員》

1. 糖尿病予防などについて

- (1) 学校での取組について
- 2. 小中学校でも金融教育を
  - (1) 金融教育について
  - (2) さいたま市などを参考に取組を

《勝山 祥 議員》

- 1. 司書について
  - (1) 小中特別支援学校に勤務されている司書の人数や勤務状況は
  - (2) 学校司書からの要望状況は
  - (3) 特別支援学校司書の配置基準は
  - (4) 学校司書の勤務時間、待遇の改善を
- 2. 検定試験検定料の補助について
  - (1) 英語検定試験検定料補助金の活用状況は
  - (2) 英語検定試験において市内施設が準会場となった実績は
  - (3) 現在対象外の小学生や高校生まで対象を広げ補助額を引き上げる考えは

《今成 優太 議員》

- 1. 部活動について
  - (1) 部活動の現状は
  - (2) 地域移行について

**教育相談室**

《篠原 通裕 議員》

- 1. オーバードーズ（医薬品の過剰摂取）について
  - (1) 防止するための取組
  - (2) 相談できる体制について

《加賀 奈々恵 議員》

- 1. 学校教育について
  - (1) 一人一人の社会的自立に向けた児童生徒支援ガイドブックの周知を
  - (2) 教育支援センター「あすなろ」への送迎実施を

《村元 寛 議員》

- 1. 障害者差別解消法の改正について
  - (1) 学校での取組について

**資料館**

《伊勢田 幸正 議員》

1. 昭和100年について
- (1) 企画展等の実施について

### **学校給食センター**

《斉藤 隆浩 議員》

1. 公共施設の老朽化対策について
- (1) 学校給食センター建替えの考えは

《宮尾 玲 議員》

1. 教育環境の充実について
- (1) 学校給食費の無償化を

《川畑 勝弘 議員》

1. 学校給食センターの建替えについて
- (1) 現施設の維持管理については進めるとのことだが、一方で施設の老朽化が進行しており、学校運営に大きな影響を及ぼすおそれがある。学校給食センターの建替えは緊急の課題と考えるが考え方やスケジュールについて教育委員会の見解を伺う

《佐野 正幸 議員》

1. 環境施策について
- (1) 学校給食の牛乳のストローレス化を

## ＜令和5年度 家庭学習応援事業＞

### 1 事業概要

#### （1）概要

事業目的	児童生徒が主体的に家庭学習に取り組めるよう支援を行い、学習意欲と達成感を高め、家庭学習の習慣化と基礎学力の定着を図ることを目的とする。
契約期間	令和5年6月30日～令和6年3月31日
委託事業者	株式会社 学研エル・スタッフィング
委託料	11,818,290円

#### （2）小学生サタデースクール☆ふじみ

対象	富士見市内在住・在学の小学5・6年生
会場	鶴瀬公民館、水谷公民館、針ヶ谷コミュニティセンター
募集人数	各学年60人
開催期間	7月～3月（8月は休講）
開催日時	毎週土曜日 午前9時30分～10時30分 【5年生】 午前10時50分～11時50分 【6年生】
内容	算数の学習（60分・30回） 集団講義形式と小人数グループ指導を組み合わせた学習指導。 児童4～8人に対して講師1人。
参加費	3,500円（生活保護・就学援助認定世帯は半額） ※教材費・保険料

#### （3）中学生イブニングスクール☆ふじみ

対象	富士見市内在住・在学の中学3年生
会場	鶴瀬公民館、水谷公民館
募集人数	120人（各会場1教科につき、定員30人）
開催期間	7月～2月
開催日時	鶴瀬公民館 毎週火・木曜日 午後6時30分～8時 水谷公民館 毎週水・金曜日 午後6時30分～8時
内容	英語・数学の学習（各教科90分・33回） 集団講義形式と小人数グループ指導を組み合わせた学習指導。 生徒4～5人に対して講師1人。
参加費	1教科 5,500円（生活保護・就学援助認定世帯は半額） ※教材費・保険料

## 2 当初受講者数

### (1) 小学生サタデースクール☆ふじみ

	鶴瀬公民館	水谷公民館	針ヶ谷コミセン	合計
5年生	24人	25人	20人	69人
6年生	25人	13人	6人	44人

※6年生の水谷公民館と針ヶ谷コミセンについてそれぞれ7人、9人の定員割れが発生しました。一方で5年生は定員を上回る申し込みがありました。

事業者と協議の上、6年生の実施時間に定員超過分の5年生を受け入れました。

### (2) 中学生イブニングスクール☆ふじみ

鶴瀬公民館		水谷公民館	
英語	数学	英語	数学
30人	30人	26人	26人
【参考】 2教科受講 50人 1教科受講 12人			

## 3 受講修了者数

### (1) 小学生サタデースクール☆ふじみ

	鶴瀬公民館	水谷公民館	針ヶ谷コミセン	合計
5年生	23人	25人	20人	68人
6年生	22人	13人	6人	41人

当初受講者数より4人減。

※5年生1人。

※6年生3人。

### (2) 中学生イブニングスクール☆ふじみ

鶴瀬公民館		水谷公民館	
英語	数学	英語	数学
28人	28人	26人	26人

当初受講者より、鶴瀬公民館の英語2人、数学2人減。

## 4 参加児童生徒出席率

### (1) 小学生サタデースクール☆ふじみ

	鶴瀬公民館	水谷公民館	針ヶ谷コミセン	全体平均
5年生	77.6%	72.7%	81.0%	76.8%
6年生	73.8%	76.1%	87.4%	76.4%

### (2) 中学生イブニングスクール☆ふじみ

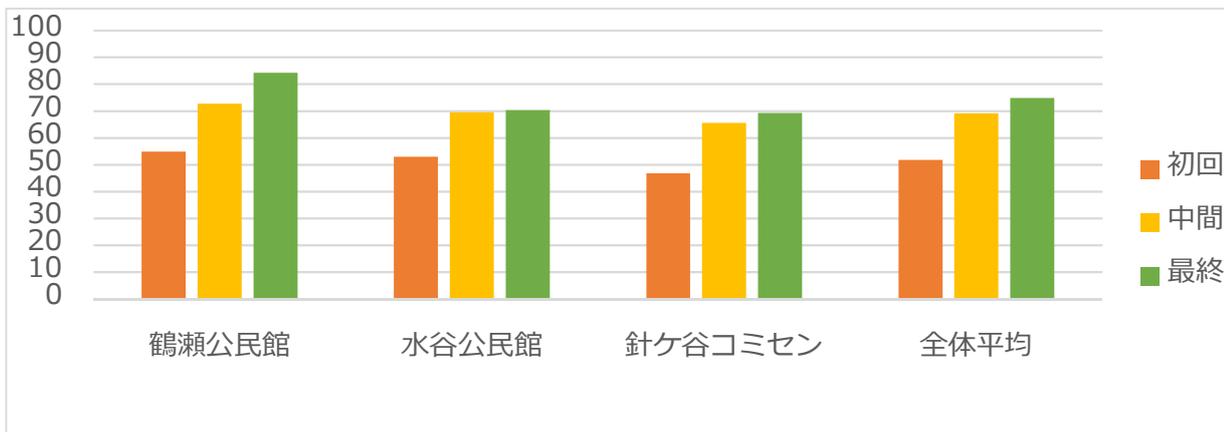
	鶴瀬公民館	水谷公民館	全体平均
英語	82.1%	81.5%	81.8%
数学	80.8%	84.4%	82.4%

※在籍するクラスが学年・学級閉鎖となった場合は、受講を控えていただいた。

## 5 効果測定結果

### <小学5年生>

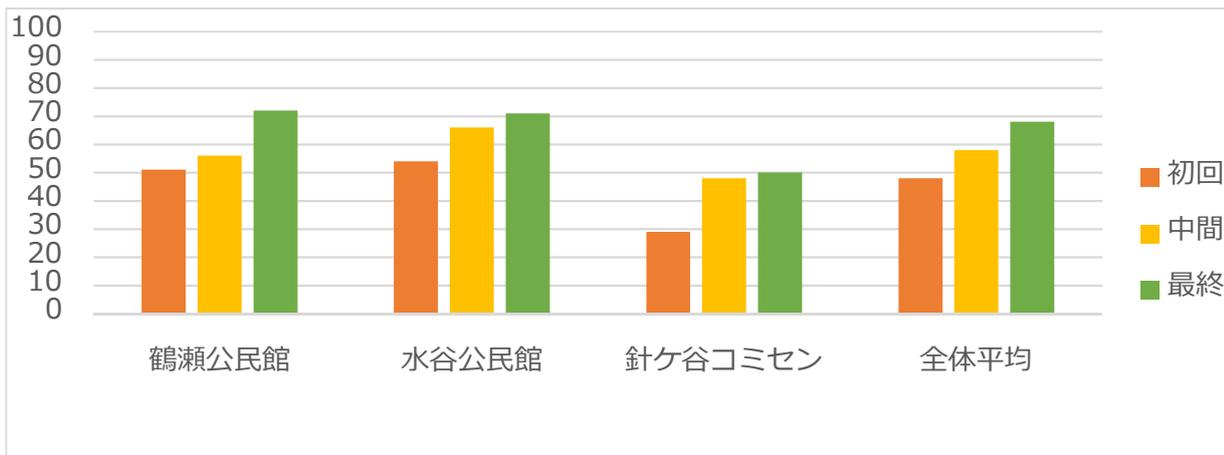
	初回	中間	最終
鶴瀬公民館	54.9点	72.7点	84.2点
水谷公民館	52.9点	69.5点	70.3点
針ヶ谷コミセン	46.8点	65.5点	69.2点
全体平均	51.8点	69.1点	74.8点



※3会場の全てで成績が向上しており、学力の定着が図れた。(平均23点UP)

### <小学6年生>

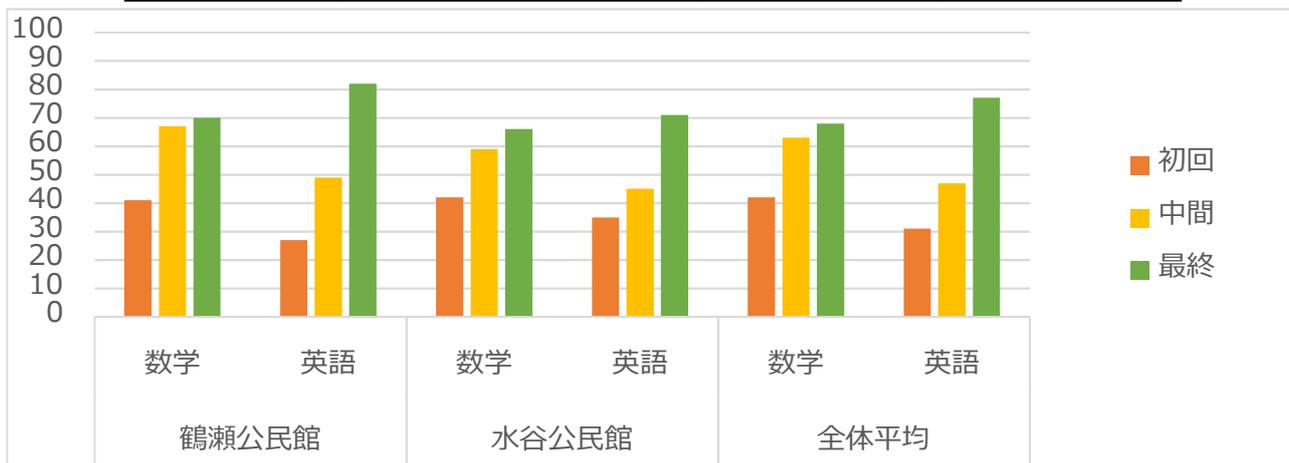
	初回	中間	最終
鶴瀬公民館	50.6点	55.5点	72.1点
水谷公民館	53.9点	65.7点	70.9点
針ヶ谷コミセン	28.7点	47.7点	50.0点
全体平均	48.5点	57.6点	68.3点



※3会場の全てで成績が向上しており、学力の定着が図れた。(平均19.8点UP)

< 中学3年生 >

		初回	中間	最終
鶴瀬公民館	数学	41.3点	67.2点	69.8点
	英語	26.8点	48.7点	81.5点
水谷公民館	数学	42.3点	59.1点	65.7点
	英語	34.9点	45.1点	71.1点
全体平均	数学	41.8点	63.2点	67.9点
	英語	30.5点	47.0点	76.5点



※2会場の両方で成績が向上しており、学力の定着が図れた。

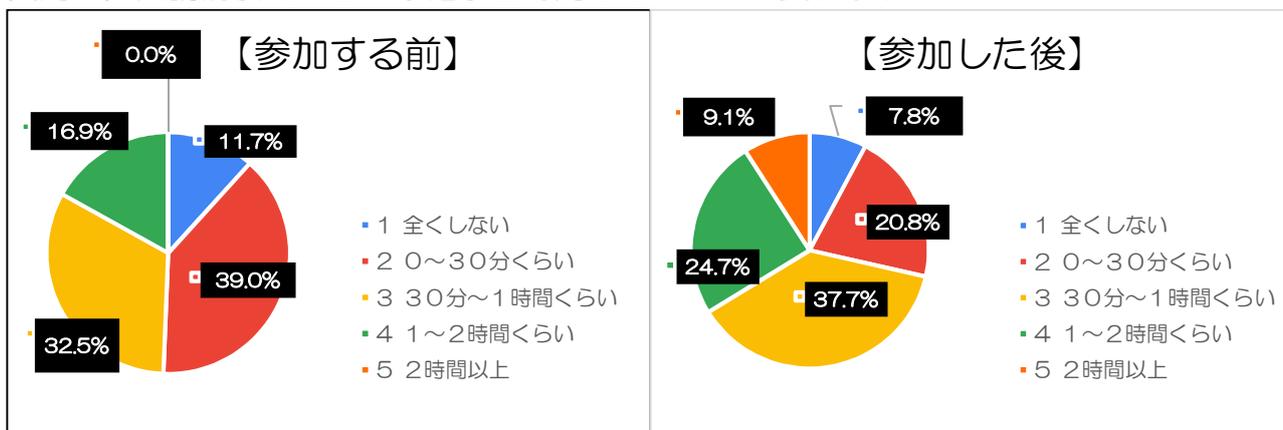
特に英語は大幅な向上がみられた。(数学平均26.1点UP、英語平均46点UP)

## 6 成果報告（アンケート結果）

【小学5年生】

《アンケート（抜粋）》

質問1. 受講前後で1日の家庭学習時間はどのように変わりましたか

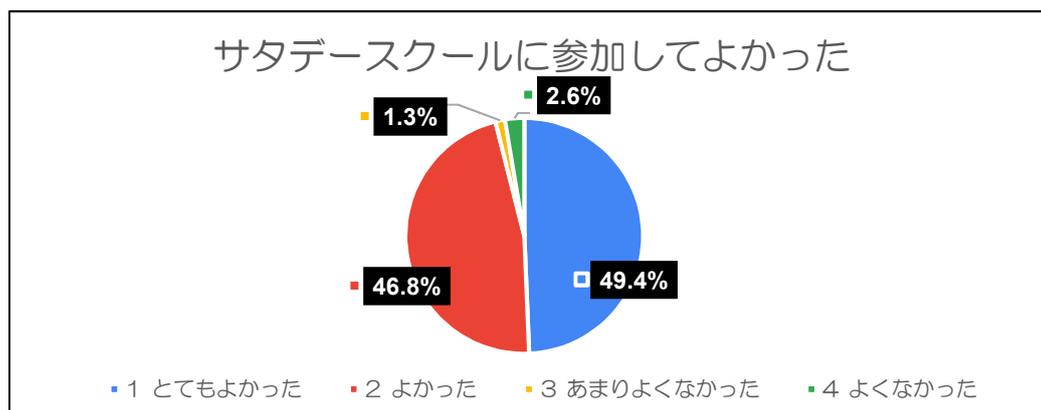


参加前後で家庭学習時間の増加がみられる。

◇30分以上が49.4%→71.5%に増加

1時間以上が16.9%→33.8%に増加

質問2. サタデースクールに参加してよかったですか



96.2%の児童が、本講座に参加してよかったと回答している。

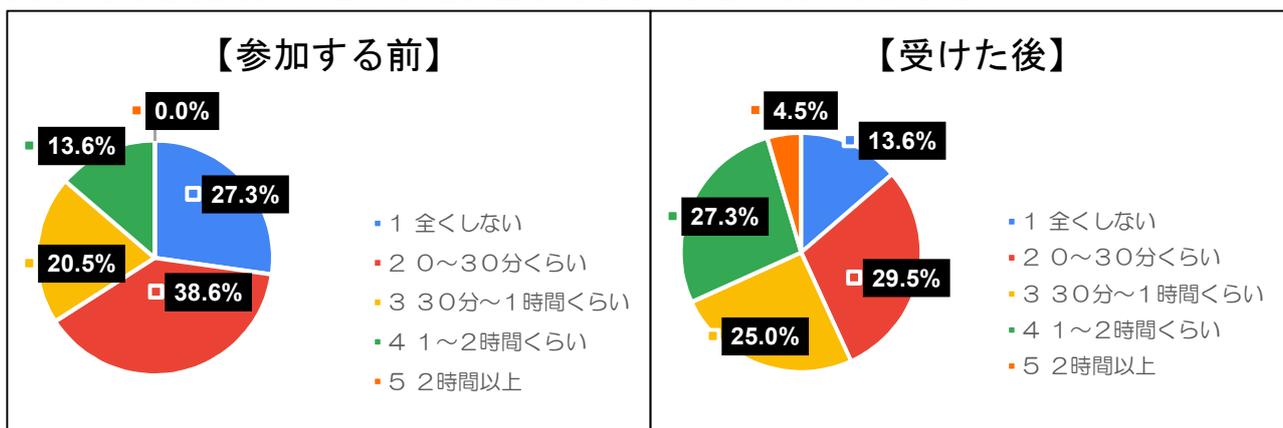
質問3. サタデースクールに関する要望・感想・今後の目標を聞かせてください

- 今まで算数を中心として勉強を教えてくださいありがとうございました。サタデースクールに通って少し自信がついた気がしました。また、6年生や中学校となってもサタデースクールで学んだことを思い出して、この先も頑張りたいと思います。今まで本当にありがとうございました。
- 一年間ありがとうございました。また6年生になってもやろうと思うのでよろしくお願いします。
- 学年が上がることにより、だんだん難しくなっていくと思うので、5年生で習ったことを活かして、算数を好きになることが目標です。どんな問題も諦めずに取り組みたいです。
- 学年が上がったら最高学年として低学年に優しくできて勉強をしっかり頭の中に入れたいです。
- 算数・計算や5年で学んだことを忘れないようにしたい。6年でも頑張りたい!

【小学6年生】

《アンケート（抜粋）》

質問1. 受講前後で1日の家庭学習時間はどのように変わりましたか

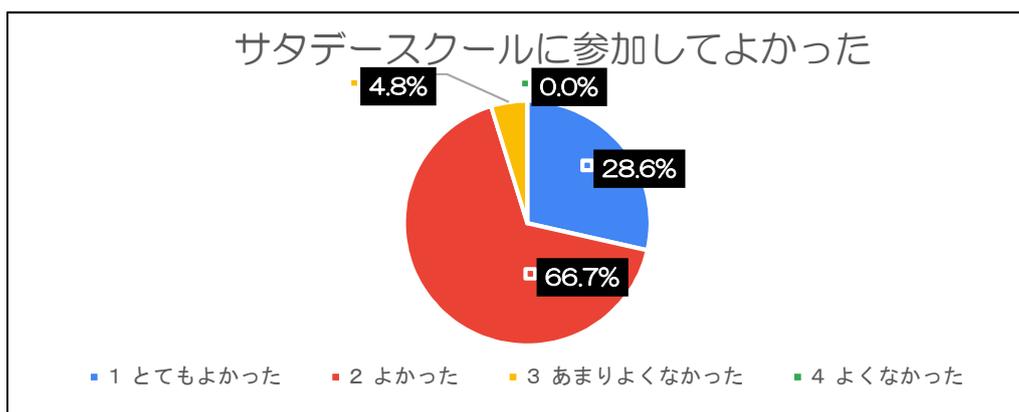


参加前後で家庭学習時間の増加がみられる。

◇30分以上が34.1%→56.8%に増加

1時間以上が13.6%→31.8%に増加

質問2. サタースクールに参加してよかったですか



95.3%の児童が、本講座に参加してよかったと回答している。

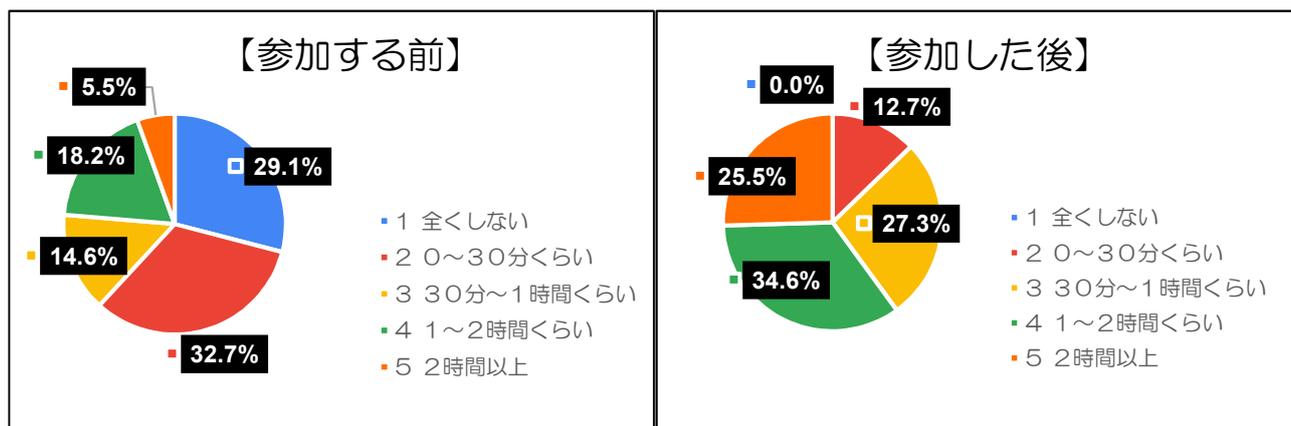
質問3. サタースクールに関する要望・感想・今後の目標を聞かせてください

- 一年間ありがとうございました。5年生～6年生のサタースクールに参加し、できるようになったものも多くあり、それも先生たちのおかげです。本当にありがとうございました。学んだことを中学校で活かせるよう頑張ります。
- 1年間色々な算数の勉強を教えて下さり、本当にありがとうございました。私は算数が苦手だったけれど先生たちのおかげで自信がつくようになりました。中学に行っても頑張ります。
- 部活、勉強、習い事全てにおき、全力を尽くしたいです。将来の夢もあるので、それに向かって努力していきたいです。勉強に対して遅れを取らないよう家での学習も計画を立てて進めて、わからないことがあってもそのままにしないで調べたり聞いたりしたいです。
- 4月から中学生になるので、勉強の予習・復習をしっかりとやって、テストでも高得点を取れるように頑張りたいです。

【中学3年生】

《アンケート（抜粋）》

質問1. 受講前後で1日の家庭学習時間はどのように変わりましたか

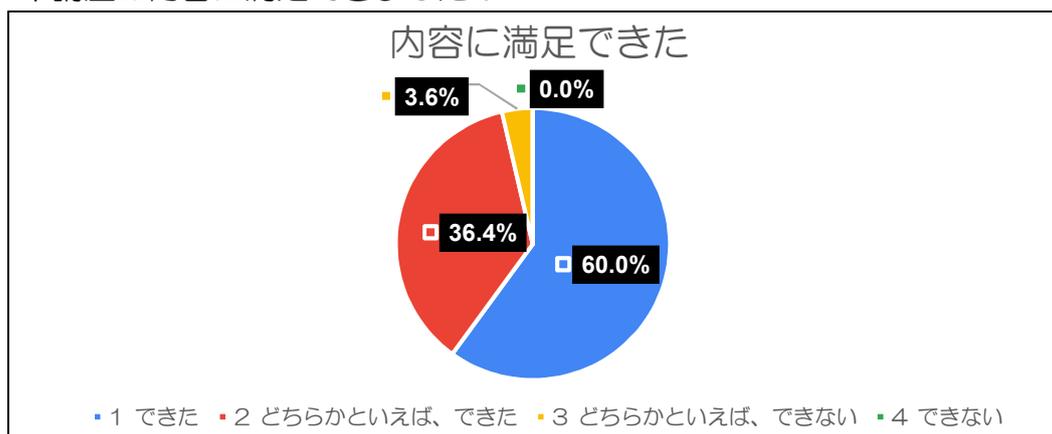


参加前後で家庭学習時間が大幅に増えている。

◇30分以上が38.3%→87.4%に増加

1時間以上が23.7%→60.1%に増加

質問2. 本講座の内容に満足できましたか



96.4%の生徒が、本講座の内容に満足している。

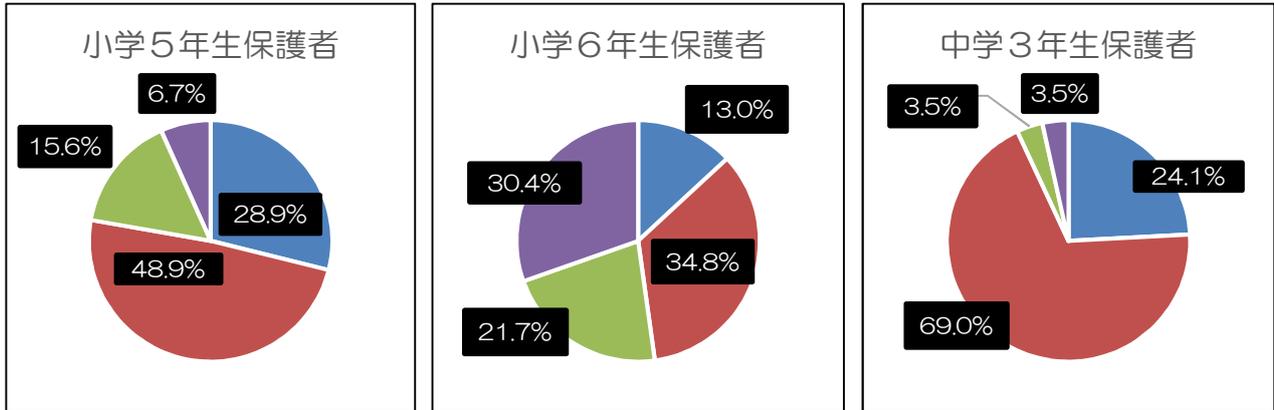
質問3. イブニングスクールに関する要望・感想・今後の目標を聞かせてください

- 授業前に予習しとこうと進んで勉強するようになりました。そのおかげで学校の英語の聞き取りと数学の計算問題がすぐに理解できるようになりました。
- 再度一から学びなおしをさせて頂き、少しずつ丁寧に教えてもらい、勉強へのトラウマが無くなり、とてもイブニングスクールを楽しみに一週間を過ごしていました。通室できていない時も親身になってくださり、復習テキストを送ってくださりしたときはこんなに向き合って下さるのかと感動しました。
- 塾は中3になってからやめてしまって自分もどうしようと悩むことが増えてきましたが、イブニングスクールに通ってから学校での数学の授業が少し楽しくなって解ける問題も増えて前よりも勉強と向き合うことができよかったです。
- 1年間ありがとうございました。真剣に取り組めて問題を理解して勉強の楽しさ、達成感を教えてもらいました。また他校との友達もできてよい経験になりました。
- いつも明るい先生方がたくさんいて、サポートして下さる先生の人数が多いのも魅力的に感じました。小学生の時の恩師にも出会え幸せな時間を過ごせました。

【保護者】

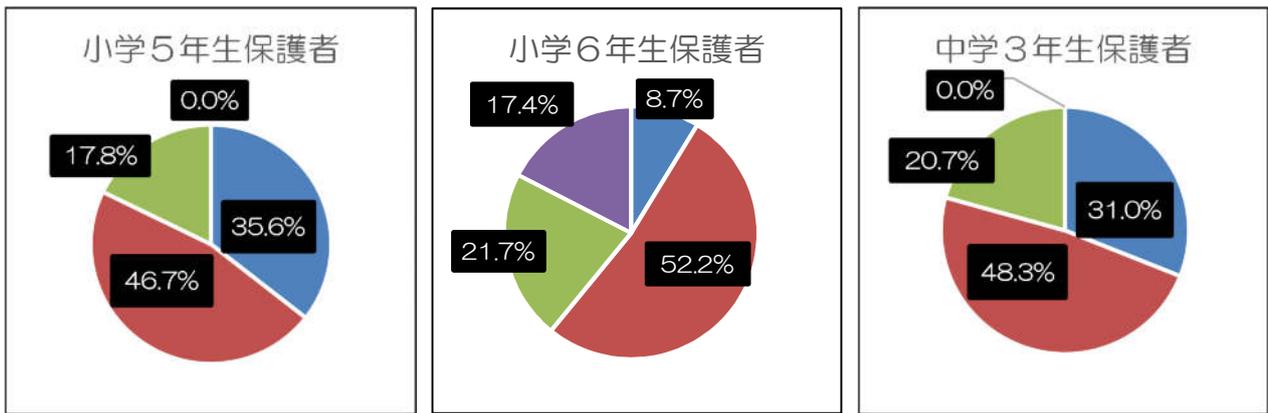
《アンケート（抜粋）》

質問1. 【小学生】お子様と一緒に勉強する時間は増えましたか  
【中学生】学習習慣が身についたと感じますか



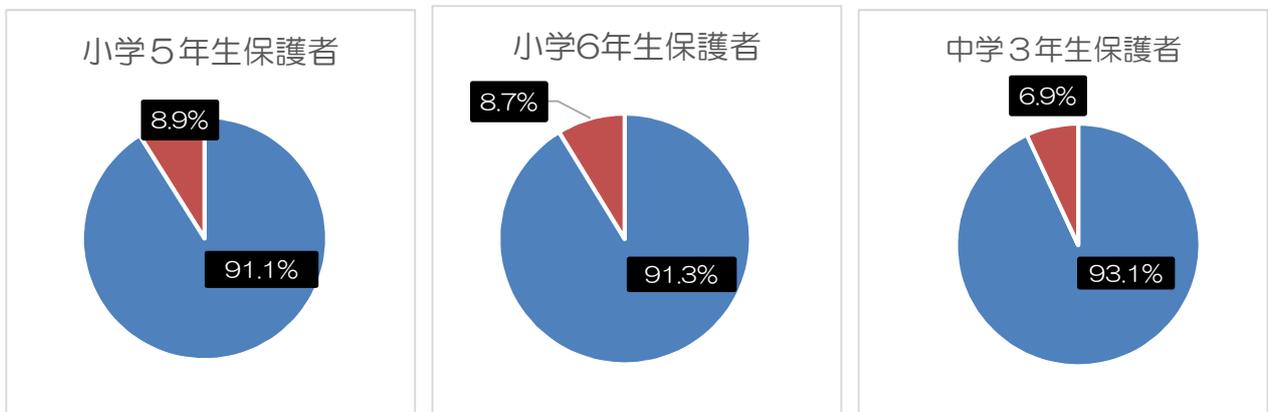
■そう思う ■どちらかといえばそう思う ■どちらかといえばそう思わない ■そう思わない  
どちらかといえばそう思う以上の割合 小5：77.8%、小6：47.8%、中3：93.1%

質問2. お子様と学習に関して会話する時間は増えましたか



■そう思う ■どちらかといえばそう思う ■どちらかといえばそう思わない ■そう思わない  
どちらかといえばそう思う以上の割合 小5：82.3%、小6：60.9%、中3：79.3%

質問3. 本講座の内容に満足できましたか



■満足できた ■物足りなかった  
満足できた以上の割合 小5：91.1%、小6：91.3%、中3：93.1%

質問4. 本講座に関する要望・感想を聞かせてください

- ・ 始めの頃はなじめずに行きたくないという事が多くありましたが、回が進むにつれて勉強する姿勢が見られてきました。理解ができたときの喜びもあり、サタデースクールが楽しいという時が増えていました。ご迷惑をたくさんお掛けしましたが、良くしてもらいました。ありがとうございました。またイブニングスクールで姉もお世話になりました。おかげさまで第一希望の高校に合格することが出来ました。ありがとうございました。
- ・ 何度か私用でお休みする事もありましたが、行きたくない！と言うことなく通うことができ感謝しております。短い期間ではありましたが、お世話になりました。ありがとうございました。
- ・ サタデースクールでは娘がお世話になり、ありがとうございます。算数が大の苦手でした。少しでも出来る様になりたいと、本人も前向きに通い続けました。算数の学力はもう少し上がって欲しかったですが、先生のおかげで苦手意識は低くなりました。「休みたい」とは1度も言ったことは無く、毎回とても楽しみに通っていました。とても優しい先生に感謝しています。本当にありがとうございました。
- ・ 当初、継続できるのか不安もありましたが先生方や同級生と過ごして意識が変わり自ら勉強をする姿に成長を感じました。8ヶ月と短い期間ではありましたが、ご指導ありがとうございました。
- ・ イブニングスクールという環境があったおかげで、学習する時間やわからないときなど自分自身だけの学習だと限界があったのでたすかりました。

7 3年間の比較（令和3年度～令和5年度）

①学校ごとの参加人数

<小学5年生>

(人)

	鶴瀬	水谷	南畑	関沢	勝瀬	水谷東	諏訪	みずほ台	針ヶ谷	ふじみ野	つるせ台	合計
3年度	7	5	4	8	1	3	11	4	6	0	3	52
4年度	6	17	0	3	4	0	11	2	5	0	4	52
5年度	2	18	4	8	6	4	9	8	4	1	5	69

<小学6年生>

(人)

	鶴瀬	水谷	南畑	関沢	勝瀬	水谷東	諏訪	みずほ台	針ヶ谷	ふじみ野	つるせ台	合計
3年度	2	8	2	3	4	3	10	5	2	0	4	43
4年度	0	14	6	6	7	0	10	3	8	1	2	57
5年度	5	8	4	1	10	0	5	3	5	0	3	44

<中学生>

(人)

	富士見台	本郷	東	西	勝瀬	水谷	合計
3年度	12	12	3	7	28	10	72
4年度	11	12	13	5	11	9	61
5年度	16	13	9	4	11	9	62

## ②出席率

### <小学生>

	小学5年生	小学6年生	全体
3年度	87.4%	85.2%	86.3%
4年度	80.8%	83.0%	82.0%
5年度	76.8%	76.4%	76.7%

- 小学生の出席率が平均76.7%であった。夏にインフルエンザが流行したことや、土曜日の学校行事が再開されて日程が重複したことが要因と考えられる。

### <中学生>

	鶴瀬公民館・英語	鶴瀬公民館・数学	水谷公民館・英語	水谷公民館・数学	全体
3年度	91.0%	86.0%	83.6%	82.4%	85.8%
4年度	78.9%	83.3%	76.7%	76.0%	78.8%
5年度	82.1%	80.8%	81.5%	84.4%	82.4%

- 中学生は受験という目標もあり、平均で82.4%と例年と同程度の出席率を維持できた。

## 8 今年度のまとめ

- 集団講義と少人数グループ指導を組み合わせ、一体感を持って学習する環境と個別に質問可能な時間を設けることができ、集中力を維持するための学習環境を構築することが出来た。
- 学力の遅れがある参加者に対しては、遡りの教材を利用し各自のつまずき部分を解消するための学習指導を行った。
- すべての学年で学力の向上がみられ、基礎学力の引き上げが図られたものと考えられる。
- 参加者アンケートより、家庭学習時間はすべての学年で増加し、講座の満足度は95%を超える効果が得られた。
- 小学6年生の参加者44人のうち、16人が前年度からの継続参加者であった。

## 9 次年度に向けた取組み

- 学校への更なる周知の為、校長会にて実施結果とアンケート結果を報告。
- 通常授業とは別に学習イベント（ことば遊びとかるた作り、海外文化に触れる等）の実施。
- 会場への参加が難しい児童生徒を対象に、家庭学習用ICT教材の活用。
- 学校の定期テスト直前に専用教材を使用し、集中学習の実施。
- 保護者、生徒からの希望により進路相談の実施。

## 10 今後の方向性

- 夏期講習や冬季講習など短期集中型の形態での実施方法や現在実施している対象学年で今後も実施するのか、教育委員会で検討を行う。
- 市内3カ所の公共施設を会場としているが、会場の追加や学校での開催など、二つの調査を行い実施会場の検討を行う。
- 受益者負担の観点より、参加費をいただいているが、物価高騰の背景もあり参加費の値上げについて検討を行う。

# 報告事項（４）資料

令和6年6月19日

富士見市教育委員会  
教育長 山口 武士 様

富士見市公民館運営審議会  
議 長 新 井 充

## 富士見市公民館運営審議会・報告 「公民館のデジタル化」について

富士見市公民館運営審議会（以下、「公運審」という。）では、令和4年7月1日から令和6年6月30日の任期中の協議テーマとして「公民館のデジタル化」を取り上げ議論しました。その内容をまとめましたので、次のとおり報告いたします。

### 〈目次〉

1. はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
  2. 協議テーマ『公民館のデジタル化』について・・・・・・・・・・ 3
  3. デジタル化に関する公民館の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
  4. 公運審の意見交換と課題・展望について  
① デジタルデバイドに関して・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6  
② 公民館事業（学級・講座等）での展開について・・・・・・・・ 8  
③ 施設整備、環境等に関して・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10  
④ 施設予約、手続等に関して・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
  5. おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 【関連レポート】地域・自治シンポジウムでの Zoom 視聴対応・・ 15

## 1. はじめに

社会の変化やコロナ禍において生活様式の変化、急速なデジタル化の進展（SNS、各種申請・手続・決済、リモートワーク・web会議、GIGAスクール等）する中、第10期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理（令和2年9月）において、

- ・新しい技術を活用した「オンラインによる学び」と「対面による学び」の組合せで学びが更に豊かなものになる
- ・デジタルデバイド解消のため、社会教育施設等でのICTリテラシーを身に付ける学習機会を充実すること

などの整理がありました。

一方、市に目を向けると、デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画（令和3年度～令和7年度）を策定し、

- ・市民サービスの向上として、行政手続きのオンライン化
- ・地域社会のデジタル化としてデジタル人材の確保・育成、デジタルデバイス対策、公共施設の無線LAN環境の整備

などを位置づけ、市内公共施設のWi-Fi設置（令和4年度）などを行っています。

また、第3次富士見市教育振興基本計画（令和5年度～令和9年度）において、

- ・生涯にわたる学習機会の提供と地域づくりの推進として、高齢者などのデジタル活用を支援するため、スマホ教室などの開催、公民館におけるWi-Fi環境を活用したオンライン事業や情報提供、居場所づくりなどの新たな事業展開
- ・利用しやすい公共施設予約システムの更新に取り組む（令和7年1月～予定）などを位置づけています。

こうした状況の中、公民館においてもデジタル化への対応は、新たな学びやコミュニケーションの構築などに不可欠なものであるとの認識に立ち、今期の公運審の検討テーマを「公民館のデジタル化」として議論を重ね、ここにその内容をまとめ、報告するものです。

本報告が、今後の公民館運営の手がかりとなり、新たな公民館事業の展開につながることを期待します。

## 2. 協議テーマ『公民館のデジタル化』について

「1. はじめに」にある国・市の動向やコロナ禍以降の公民館の状況等を踏まえ、今期（令和4年7月～令和6年6月）のテーマを検討した結果、

- ・案①公民館のデジタル化について
- ・案②アフターコロナについて
- ・案③少子高齢化に対応した公民館利用について

の3案が出た。

この中で、案①公民館のデジタル化についての話をしていると、案②アフターコロナはデジタル化ということに突き当たるのでは、案③も高齢者の学習とかデジタルデバインドといわれるようにデジタル化の話が出てくるのではという視点も踏まえ、案①公民館のデジタル化についてを検討テーマとし、「こうなったら便利だよな」というようなかしこまらない発想、意見を出し合いながら議論を深め、報告書としてまとめていくこととした。

### 【経過】

〈令和4年度〉

第3回（11月15日）	*内容の検討 *Wi-Fiの利活用について
第4回（1月25日）	*協議テーマの決定（『公民館のデジタル化』） *Wi-Fiの利活用について

\*この他、各地区公運審会議においても検討

〈令和5年度〉

第1回（6月8日）	*協議テーマ『公民館のデジタル化』について ・学級・講座や利用者増につながるWi-Fi利活用 ・公共施設予約システムに関して 他
第2回（9月28日）	*協議テーマ『公民館のデジタル化』について ・各地区公運審会議での検討を受けて
第3回（12月8日）	*協議テーマ『公民館のデジタル化』について ・各地区公運審会議での検討を受けて ・論点の整理について
第4回（3月26日）	*協議テーマ『公民館のデジタル化』について ・報告（まとめ）の確認

\*この他、各地区公運審会議においても検討

### 3. デジタル化に関する公民館の取組

富士見市公民館においては、コロナ禍における学びの継続やデジタル化の推進における対応として、学級講座の開催等に関して、スマートフォン教室をソフトバンクとの連携などにより、全公民館において開催したほか、水谷東公民館では職員によるスマホ相談を試行的に行った。コロナ禍における学習機会の対応として、南畑公民館では、『おうちで楽しむ公民館』として、学級講座の動画配信をするなど行ってきた。

講座等の申込手続き等に関して、応募フォームでの対応を進め、鶴瀬公民館では、全市事業である『地域・自治シンポジウム』、平和憲法啓発事業の『平和学習会』においては全参加申込者の 50% 近くの申込を受けた。水谷公民館では、館区内小学校との連携により、子ども向け事業案内をメール配信により行い、多くの参加申込を受けるなど、一定の成果を得た。

令和 4 年度には公民館を含む市内公共施設に Wi-Fi が整備され、公運審会議の Zoom による開催や、『地域・自治シンポジウム』の Zoom による視聴参加の実施を行った他、学習スペースとしての施設の利活用についての周知を行うなどしている。

また、公共施設予約システムに関して、現在のシステムの契約が令和 6 年 12 月 31 日までとなっており、新たなシステム導入に向けて、公の施設連絡調整会議を中心に、オンライン決済の導入等、利便性の向上につながるよう、調整を図っているところである。

#### 【デジタル化に関する公民館の取組】

- スマートフォン教室  
⇒・各公民館：ソフトバンクなどとの連携による開催（株ソフトバンクからの講師派遣）
- スマートフォン相談  
⇒・水谷東公民館：職員対応 ・南畑公民館：まち café
- 事業の動画配信  
⇒・南畑公民館：おうちで楽しむ公民館 ・水谷公民館：サークル活動応援発表会
- 講座等の申込の応募フォーム対応  
⇒・各公民館
- メール配信による事業案内  
⇒・水谷公民館：子ども向け事業＝館区内小学校の協力
- 公民館事業等のオンライン開催（Zoom）  
⇒・公運審会議の開催（2回） ・地域・自治シンポジウムの Zoom による視聴参加

## ② 学級・講座等の実績（令和4年度・5年度）

### 【令和4年度】

公民館	事業名	回数	人数
鶴瀬公民館	はじめてのスマホ教室	1回	10人
	ネット犯罪被害防止講演会	1回	7人
南畑公民館	おうちで楽しむ公民館 (動画配信事業)	1動画 (高齢者学級)	—
水谷公民館	はじめてのスマホ教室	22回	126人
水谷東公民館	初めてのスマホ入門教室	6回	62人

### 【令和5年度】

公民館	事業名	回数	人数
鶴瀬公民館	スマホ教室	4回	59人
	地域・自治シンポジウム(全市事業) (Zoomによる参加)	1回	5人
南畑公民館	おうちで楽しむ公民館 (動画配信事業)	1動画 (なんばた青空市場)	—
	はじめてのスマホ体験	4回	59人
水谷公民館	はじめてのスマホ教室	18回	71人
水谷東公民館	デジタル活用支援事業 (親子でプログラミング教室、 LINEの使い方等)	11回	99人
	子育て応援の勉強室 「スマホと子ども:悩める保護者の 10のヒント」 をテーマに開催	1回	26人



水谷東公民館・親子でプログラミング教室

## 4. 公民館運営審議会の意見と課題・展望について

これまでの取組状況を踏まえ、全体会及び各地区公運審会議において、議論・意見交換を行い、

- ① デジタルデバイドに関して
- ② 公民館事業（学級・講座等）での展開について
- ③ 施設整備、環境等に関して
- ④ 施設予約、手続等に関して

の4点についてまとめることとし、以下のような意見が出され、課題・展望を整理した。

### ① デジタルデバイドに関して

#### (ア) 意見

##### 世代間交流や連携に関して

- ・大学生との連携について、格差をなくす有効な手段になると考える。
- ・デジタル・デバイドの解消や世代間交流を目的に、大学などと連携した教室や相談などの機会ができないか。（鶴瀬）  
⇒【補足】淑徳大学に相談したが、他自治体で同様の取組を行ったが、学生の持つスマートフォンと相談者の持つスマートフォンの相違などから、対応が難しかった事例があったことなどを受け、結果として合意には至らなかった。市民団体や民間等との連携について模索していきたい。
- ・スマホなどを教える機会を、若者の世代間の交流や居場所づくりのきっかけになるとよいのでは。（全体）
- ・世代間交流で若い子が教え、高齢者が教わる側になったりするなどできれば、とても良いことだと考える。（全体）
- ・若者が高齢者にスマホを教える機会があれば世代間交流や若者自身の居場所にもつながるのでは。（水谷東）
- ・学校では授業でタブレットを活用しているなど操作ができると思う。若い世代の方が操作などを教える機会などを設けられれば世代間をつなぐ取組になるのでは。（全体）
- ・公民館では高齢者の情報格差の解消のため、スマホ教室や同じ教室でも親子でのプログラミング体験や保護者と公民館の共催でスマホやインターネットの家庭での使い方の講習会を開催する予定もある。（水谷東）
- ・高校生などは「公民館」をイメージするものがなかなかない。身近にすることが難しい。そこに問題があるのでは。（全体）

## 支援等に関して

- ・公民館職員がコンシェルジュとなり対応しているが、コンシェルジュを身近に感じてもらうための工夫も必要では。例えば名札などに「スマホ教えます」などといったやさしい表記を行うなど、デジタル化を推進しているというアナウンスになるのでは。(水谷東)
- ・公民館利用者の方は特に高齢の方が多く、できる方もいるができないという方が圧倒的に多い。デジタル化を進めるといって今よりもわからなくなる方が多くなるので、そうした方々にも配慮してほしい。(全体)
- ・タブレットの講習会をやってもいいのではないか。(全体)
- ・父が83歳で、昔からカメラが好きで、使えないけどもカメラ機能のいいスマホを持っている。Wi-fiがあっても、簡単につなげて楽しむことができない。公民館では高齢者の学習や支援を行っているが、今後も力を入れてほしい。(全体)
- ・外国人が災害や避難など必要な情報がたどりつけないこともある。やさしい日本語を使うなど、外国人に伝わるアプローチが必要。(全体)
- ・以前は鶴瀬公民館にパソコン相談室があり、分からないことは教えていただいた。(全体)
- ・その方にあった学習や相談の機会が公民館でも提供され少しでも前に進めばと考える。(全体)
- ・興味はないが必要性がある人への手立て、興味のない人をどう巻き込むかの2面性があるのでは。(全体)
- ・できない人で今後10年、15年を見据えた場合、大きな格差ができるのでは。そのような視点で講座等の展開が必要では。(全体)
- ・自分は持っていないが、寂しい思いをすることはしない。持っていないなりに対応できている。今後も所持しない人も一定数いるのでは。(全体)
- ・民間でも上手く教えてくれる。すみ分けが必要では。(全体)
- ・やりたいのにできないのが格差。それを解消し、どのように事業展開を図っていくかが重要では。(全体)

## (イ) 課題・展望

スマホ教室を各公民館で展開しているが、参加者の求めているものが、電源を入れることから始める初歩的なものから、アプリ、カメラ、地図などの機能の活用、さらにはLINEなどのSNSの活用など、多岐に渡ることから、一括りとした教室の展開が難しいと思われる点も見受けられ、「その方にあった学習や相談の機会が公民館でも提供され少しでも前に進めばと考える。」との意見もある。

そのため、幅広いニーズに対応したデジタルデバイスに関する対応が必要で

あり、教室による対応に併せ、市民や職員による支援や相談体制の構築が必要になると考えられる。

これに関して、「若い世代や大学生などがサポートできる体制が構築されれば、若者の世代間の交流や居場所づくりのきっかけになる可能性がある。」との意見が多く出ている。一方、コロナ禍の影響等もあり、長年に渡って公民館を拠点にパソコン操作等に関する市民への支援を行っていたPCサポートクラブが、その活動を終えた状況がある。また、「高校生などは『公民館』をイメージするものがなかなかない。身近にすることが難しい。そもそも若い世代がどのようにしたら公民館に関わるようになるか。」という意見もある。

このような課題を整理し、民間を含めデジタルデバイドに関する様々な学習や支援の機会があり、「民間でも上手く教えてくれる。すみ分けが必要では。」との意見もあり、市民が主体となった地域における学習や相談、交流を主眼に置いた仕組みを構築していくことが、公民館における取組のポイントになるものと捉える。そのことが新たに公民館にかかわる市民や組織を発掘するきっかけにもなると考える。

また、「興味はないが必要性がある人への手立て、興味のない人をどう巻き込むか。」「できる人とできない人で今後 10 年、15 年を見据えた場合、大きな格差ができるのでは。」「やりたいのにできないのが格差。それを解消し、どのように事業展開を図っていくかが重要では。」「外国人への支援を。」との意見もあり、公民館の特性を考えた場合、あらゆる市民への配慮や工夫が必要であると考える。

## ② 公民館事業（学級・講座等）での展開について

### (ア) 意見

#### 試行の機会

- ・Wi-Fi が整備され、活用が求められているが、実際には利用、活用方法が分からず、個人での利用が難しいのが現実となっている。このような状況の中で公運審委員同士が Zoom 会議を開催し共有化を図ることなどがデジタル化の第一歩になるのでは。(水谷東)
  - ・既存事業への取り込みについて、ライブ中継は個人情報の取扱いや撮影許可などに配慮することなど、課題についての意見も出た。
  - ・委員自らが体感するために全体公運審会議を Zoom により試行的に実施してみする方法もある。(南畑)
- ⇒【対応】令和5年度の全体公運審会議において、試行的に Zoom による会議を2回開催(令和5年9月、12月)

### **学級・講座等の展開**

- ・鶴瀬公民館にはホールがあることから、その特徴を生かして、ピアノの演奏等を配信する取組が行えないか。(鶴瀬)
  - ⇒【対応】地域・自治シンポジウム(R6.2.24)のZoom視聴においてオープニング演奏(フルート・ピアノ)の様子を配信。
- ・他館での講座を4公民館合同でオンライン講座として行えるのでは。(水谷)
- ・知るという学習機会と興味がない人を引き寄せる展開が大事では。(全体)
- ・実施にあたっての補助金などの活用(水谷)
- ・アプリのダウンロードや操作、ID、パスワードの管理など求められるレベルに差があり、対応が難しい面もあるのでは。(全体)
- ・Wi-Fiを使って何かをするという論議よりも、Wi-Fiを使って何をすべきかを公民館で取組む必要があるのでは。(水谷東)

### **eスポーツに関して**

- ・eスポーツは認知症予防にもつながるし、高齢者の施設でも取り入れているという話を聞いたこともある。若い子はやりたいことでないと入り込んでいかない。そこを上手く繋げていければ良いものになっていくのでは。(全体)
- ・eスポーツに関して、高齢者もやってみると面白いのでは。鶴瀬公民館にはホールもあるので活用してみるのもよいのでは。高齢者と子どもをつなぐきっかけにもなるのでは。(全体)
- ・公民館対抗でeスポーツ大会を開催できないか(水谷)
- ・教育現場等との情報交換が必要では。(全体)

### **(イ) 課題・展望**

令和4年度に市内公民館をはじめとした公共施設のWi-Fiが導入されたことを受け、「まずは委員からデジタル化に関して体験することから取組んでいこう。」という意見から、全体会議を2回(令和5年9月、12月)、Zoomで行った。この機会を受け、委員からは「遠方まで行かないで参加できる。」「子育て世代等には参加しやすい。」などの意見が出た。このことは、公民館事業をオンラインで展開することにも共通するものと考ええる。

また、試行的に全市事業の地域・自治シンポジウム(令和6年2月)を、Zoomで視聴参加の対応を行った。結果、事前申込みをいただいた方の約25%がZoom視聴による申込であったことから、一定のニーズはある結果となった。このような試行の結果や意見を踏まえ、オンラインによる学級・講座等の開催を充実させていく必要はあると考える。

一方で、全国的な動向に目を向けると、第10期中央教育審議会生涯学習分科

会における議論の整理（令和2年9月）では、これまで公民館等において行われてきた、主に講師と受講者が一堂に会した講座や、人々が集まったり接したりして行う自然体験、生活体験等を通じた学びは、人と人とのより直接的なふれあいや交流等の面で引き続き重要である。これらの学びは、「オンラインによる取組」と「対面による取組」の両者の組合せによって更に豊かなものになる。とされている。また、福井県高浜町立和田公民館では、健康体操教室をオンラインで実施し、福祉施設からも参加できるようにしたなどの事例がある。

これらを踏まえ、「Wi-Fi を使って何をするとという論議よりも、Wi-Fi を使って何をすべきかを公民館で取組む必要があるのでは。」という意見があるように、デジタル化による公民館事業（学級・講座等）の展開は、デジタル化とすることが目的ではなく、デジタル化による学習機会や参加機会の充実を図っていくことが重要になると考える。

この他、e スポーツに関する取組に関して、「認知症予防や子どもたちの世代間交流につながる。」等の意見が出ている。まずは、各公民館における高齢者サロンや高齢者学級及び子どもたちの声を把握するとともに、教育現場等との情報交換の場が必要であると考え。また、市においてフレイル予防（加齢に伴う心身の活力が低下する状態を予防すること。）のメニューとして、令和6年度からe スポーツを導入する計画があることから、公民館における展開や連携に向けて注視していくことや機材等の整備について検証する必要があると考える。

### ③ 施設整備、環境等に関して

#### （ア）意見

##### 機材等に関して

- ・大人数で対応できるための大型モニターや配信するためのパソコンやカメラ等のハード面での整備が必要。（水谷）
- ・デジタル化を進めるには必要な機材を揃えないと進められないのでは。（全体）
- ・先日、南畑公民館で会議に来ていた親御さんがいて、お子さんが公民館で待っていた。その間、Wi-Fi で Youtube をつなげられて有難かったといった意見があった。（全体）

##### 施設の活用に関して

- ・受験シーズンなどに落ち着いた場所でパソコンを使って学習をする環境にはなっていない。そのような児童、生徒が行き場を失わないような場所を提供できればと思う。広報すれば結構人は来るのでは。家では集中できなくても、外

であれば集中できる子も多いのでは。そのような場所が少しでも多く提供できればと考える。(全体)

- ・空いている部屋があればオープンスペースとして、学習などに利用すれば有効活用につながるのでは。(全体)
- ・図書館では学び直しという点もあるのか、満席の状態が多い。公民館での Wi-Fi 設置、学習スペースとしての開放など、そのような環境があるという発信が重要になるのでは。(全体)

### 編集に関して

- ・編集作業等の職員のスキルアップが必要(水谷)
- ・ビデオの編集などに関して高校や大学、市民団体などの連携が必要では(水谷)

### 諸課題に関して

- ・著作権など法律的な確認も必要(水谷)
- ・不特定多数への配信で安易に BGM を流すことは著作権に抵触することもありうると心配する。(全体)

## (イ) 課題・展望

まず、上記②の公民館事業(学級・講座等)での展開についてでも触れたが、試行的に全市事業の地域・自治シンポジウム(R6.2.24)を Zoom での視聴参加を対応可能した。一般的な講座室や会議室ではなく、舞台がある鶴瀬コミュニティセンター・ホールが会場で、音楽演奏があり、複数のパネリストがいること、公民館職員の力量だけでは、カメラ、音響機器等との接続が困難であることなどから、富士見市市民人材バンクにおいてイベントのオンライン配信について登録されている方及び会場の舞台技師に協力をいただき、配信の準備を行った。初めての試みで課題も出たが、この協力が無い限り、配信はできなかったのが現実である。(詳細レポート P15 参照)

また、「必要な機材を揃えていかないと進められないことは明らかである。」という意見も出ている。これらを踏まえ、市民等の協力体制を構築することや、機材の整備が必要である。内容に応じて著作権等の確認も必要である。

施設の活用に目を向けると、令和4年度に公民館等公共施設に Wi-Fi が整備されたことから、児童、生徒等の学習の場としての提供や周知に関する意見が複数出された。学習の場としての提供の充実は、若い世代の公民館利用の拡充や新たに公民館事業等にかかわる市民の発掘にもつながる可能性があることから、各公民館の施設状況に応じて、工夫を凝らしながら、積極的に進めるとともに PRを図っていく必要もある。

#### ④ 施設予約、手続等に関して

##### (ア) 意見

###### 現状と今後に向けての状況 (情報提供)

- ・現在の公共施設予約システムは令和6年12月までが契約期間となり、令和7年1月から新たなシステムによる運用となる予定である。
- ・令和2年10月から窓口におけるキャッシュレス決済を開始した。窓口で使用料を支払う際、クレジットカード等による支払いが可能となった。
- ・新たなシステムを導入する際に、オンラインによるキャッシュレス決済を導入することを検討している。導入されれば、自宅のパソコンやスマートフォン等でクレジットカードにより使用料の支払いが可能になる。

###### 事業参加申込・情報提供等に関して

- ・応募フォームからの申込みは時間の制約がないため、子育て世代の方は利用しやすいと思われる。(南畑)
- ・紙媒体のサークル案内を動画で配信したり、サイネージで紹介することはできないか。(水谷)

###### 全般に関して

- ・システムが使えない人が、施設を使うことができないことにならないよう配慮いただきたい。(全体)
- ・興味がない人に関心を持たせることは難しい。ない人も興味を持つような工夫や、生活の幅を持つための必要性を訴えていくべきではないか。(全体)

##### (イ) 課題・展望

現在の公共施設予約システムは平成27年に導入された。導入から8年以上が経過した。この間、コロナ禍や生活様式の変化を受け、令和2年10月から窓口におけるキャッシュレス決済を開始し、クレジットカード等による支払いが可能となるなどしてきた。

利用者もシステムに一定程度慣れてきているが、現在のシステムは古いもので継続使用ができないため、令和7年1月から新たなシステムを導入する予定で準備を進めている。

その際、新たにオンラインによるキャッシュレス決済を導入することを検討している。導入されれば、自宅のパソコンやスマートフォン等でクレジットカードにより使用料の支払いが可能になる。

これを受け委員から、「システムが使えない人が、施設を使うことができない

ことにならないよう配慮いただきたい。」「興味がない人に関心を持たせることは難しい。興味ない人も興味を持つような工夫や、生活の幅を持つための必要性を訴えていくべきではないか。」という意見が出ている。

新たなシステム導入は、その操作に慣れるまで一定の期間が必要となると思われるが、丁寧な説明や操作支援が必要であると考えている。

## 5. おわりに

富士見市の公民館は長きにわたり、  
公民館運営の4つの原則

- ① 市民主体の原則 ② 地域主義の原則 ③ 教育機関の原則
- ④ 自由な活動の場としての施設提供の原則

5つの役割

- ① 学級・講座の開催 ② 地域社会をつなぐ ③ 情報の提供
- ④ 相談・援助 ⑤ 施設・設備の提供、整備

を基に、全国的にも誇れる公民館活動、事業を展開してきた。

しかしながら、コロナ禍、少子高齢化、デジタル技術の進展等により地域のあり方、学習のあり方など大きな変化が起きるとともに、利用団体、利用者は減少しつつある。

公民館においても、事業の企画・運営等に関して、「今までこのようにやってきた……」と、これまで培ってきたものと同じやり方では、段々に行えなくなってきた。

今後の公民館を見据えた時に、事業展開の工夫、見直しは不可欠なものとなるが、今回の協議テーマである『デジタル化』はその最たるものであり、公民館が抱える、学習形態の多様化、高齢化社会への対応、若者の参加等の諸課題にも密接に関わるものである。

今回の報告では

- ① デジタルデバインドへの対応 ②学級・講座への対応 ③施設整備、環境
- ④ 施設予約、手続等

の4点について、意見を出し合い、課題、展望を整理したが、『デジタル化』を有効的に進めることにより新たな公民館づくりを進めていただきたいと考える。

その一方で、公民館は、上記の富士見市公民館の4つの原則、5つの役割を見失うことなく、市民が主人公の公民館運営をめざし、市民参画や市民との協働を原則として事業の企画運営に努め、『デジタル化』が地域や公民館、人とのつながりを疎遠なものとすることなく、地域の方に生活や文化、教育や福祉などさま

さまざまな分野にわたる学びの機会を提供するとともに、幅広いまちづくり活動を支援することを目的とした社会教育法に基づく教育機関としての役割を全うするようお願いものである。

## 富士見市公民館運営審議会

(任期: 令和4年7月1日～令和6年6月30日)

No.	館区	役職	委員氏名	所属等
1	鶴瀬	委員	小谷 千佳子	子ども大学実行委員
2		委員	小林 勝夫(副議長)	子ども家庭福祉審議会委員
3		委員	石谷 シズ子	埜歩歩富士見山の会
4		委員	清水 中夫	公募委員
5	南畑	委員	新井 充(議長)	元学校長
6		委員	松尾 信悟	南畑地域子ども教室
7		委員	長堀 厚子	なんばたキッチン
8		委員	大竹 ひろみ	ちびっこあおむしスタッフ
9	水谷	委員	小森 和雄(副議長)	資料館市民学芸員
10		委員	三枝 晴子	水谷婦人会
11		委員	河野 豊	水谷公民館企画運営委員
12		委員	大島 仁	市校長会
13	水谷東	委員	上島 直美	ふじみの国際交流センター
14		委員	井山 千鶴子	まちづくり協議会
15		委員	松波 徳美	市校長会(令和4年7月1日～令和5年3月31日)
			齊藤 宏	市校長会(令和5年4月17日～令和6年6月30日)
16	委員	久保田 利明(副議長)	公募委員	

**【関連レポート】**  
**地域・自治シンポジウムでの Zoom 視聴対応**

**1 経 過**

公民館のデジタル化について議論、意見交換をしている中で、「公運審会議を Zoom で開催し共有化を図ることなどがデジタル化の第一歩になるのでは。」との意見が複数あり、令和 5 年度の会議を 2 回 Zoom で開催した。

また、鶴瀬公民館区の会議では、「ホールがあるという施設特性を活かすという観点から、音楽に関する事業等の配信をしてみてもは。」との意見があった。

これを受け、令和 6 年 2 月 23 日開催の『地域・自治シンポジウム』において、会場参加に加え、Zoom による視聴参加も募集し、試行的に行った。

**2 『地域・自治シンポジウムの概要』**

- |   |       |   |                               |
|---|-------|---|-------------------------------|
| 1 | テ     | マ | “対話” でつながるまち                  |
| 2 | 日     | 時 | 令和 6 年 2 月 24 日（土）13:30～15:45 |
| 3 | 会     | 場 | 鶴瀬コミュニティセンター ホール              |
| 4 | 当日参加者 |   | 45 人（内、Zoom 参加者 5 人：事前申込 8 人） |

**【タイムスケジュール】**

13:30～ 開会

オープニング：ピアノとフルートの演奏 出演/トゥッティ

曲：おひさま～大切なあなた～、にじいろ

市長あいさつ

教育長紹介

13:45～ 問題提起：コーディネーター

せきざき じゆんや  
関崎 純也 氏（教育相談室室長兼指導主事）

（15分）

14:00～ 実践例報告（60分）

かみくら なおと  
① 上倉 直人 氏（市立勝瀬小学校 主幹教諭）

「1対30の現場から」

せと ちえ  
② 瀬戸 千江 氏（傾聴ボランティア「やまぶき」代表）

「傾聴から見えてきたこと」

やました まこと  
③ 山下 真実 氏（対話カフェつむぎ 代表）

「小さな声が聴こえる場づくり」

15:00～ 参加者同士のグループ・トーク

※話し合いに加わりたくない方は、ご休憩ください。

15:20～ 参加者からの質問・感想

### 3 Zoom 配信の準備

#### ① 準備前の状況

- ・担当職員は Zoom に関して、各種会議へのゲスト参加が中心で、ホストとして対応した経験は、上記公運審会議の他、数回程度である。また事業の配信経験はない。
- ・会場は舞台があるホールである。その中で音楽演奏、4人の登壇者、手話通訳者等が関係し、カメラ等について、それぞれの場面に応じた対応が必要となる。

#### ② 市民等の協力

- ・上記①の状況から、職員のみでの対応は困難と判断し、今回のシンポジウムの登壇者の一人である、山下真実氏が富士見市市民人材バンクにおいて、イベントのオンライン配信で登録されていることから、協力をいただくこととした。また、ホールには専用の音響機器等があることから、専属の舞台技師である大山哲男氏にも協力をいただくこととした。

#### ③ 準備作業

- ・配信にあたって、
  - \*令和5年12月22日に山下氏とシンポジウム担当職員との打合せ
  - \*令和6年2月5日に山下氏、大山氏、シンポジウム担当職員で配線等の確認作業を行った。この中で出た課題、対応等は以下のとおりである。

#### 音響に関して

ホール内のマイク音声を Zoom 用 P C で拾うだけでは十分ではないことから、

- (1) Zoom 用 P C 受信用のマイクを別途舞台に設置し、そこから音を拾う。
- (2) ホール音響室機器から直接 Zoom 用 P C に音声を入力するよう接続のいずれかの手法で対応することにした。2月5日の確認作業時は(1)の手法で概ね支障なく配信できることを確認したが、当日はより良い音声配信のため(2)の手法について行えるか、引続き確認することとした。(2)の手法について山下氏、大山氏と作業を行ったが、はじめはクリアな音声流れず、音が途切れ途切れの状況であった。これは P C への入力負担が大きすぎるのが原因と考えられ、音響機材や P C の入出力の調整などにより解決したが、当日午前中まで作業を要した。

### 映像（カメラに関して）

ホール後方から固定カメラで映像を流すことにしたが、Zoom 用 P C 内蔵のカメラでは舞台全体をカバーすることは困難であることから、ビデオカメラを P C に接続し映し出すことにした。これにはビデオカメラの映像を P C に映し出すためのチャプターが必要である。

### 手話通訳に関して

手話通訳を必要とする方が Zoom 参加した場合、手話通訳者を映すカメラを別に設置しないと手話を映し出せない。その際は手話通訳者との調整も必要。これを受け、応募フォームによる参加申込受付において、手話通訳の希望の有無を確認する項目を設けた。結果として今回は Zoom による手話通訳の希望の申込はなく、手話通訳用カメラの設置は行わなかった。

### 参加者への周知等に関して

Zoom 参加に関する注意事項等（視聴のみの対応等）を知らせる必要があるとのことを受け、市の別事業の取組を参考に、ID、パスコードのお知らせと併せて送付した。

## ④ 当日の配信

上記③の対応により、Zoom 配信による視聴参加を行った。参加者は 5 名（事前申込者は 8 名）であった。



機材の接続



受信のようす



会場のようす①



会場のようす②

## ⑤ 課題・まとめ

### 委員から

・今回の取組について委員 1 名が Zoom 視聴により参加した。参加しての意見、課題を以下のとおりいただいた。

- ・オンラインの参加者には、終わったらメールや ZOOM のチャットでアンケートのことを知らせた方がよい。Google フォームに飛ぶようにすると、みなさん面倒なこともなく書いてくれるのでは。
- ・タブレットの中から見た ZOOM の参加者が少ない様子。事前アナウンスに課題あり。
- ・シンポジウム終了後、一定期間誰でもオンラインで聞けるようにした方がよい。
- ・申込みの数のアカウントの関係もあるかもしれないが、オンライン参加者は何度も一定期間聞けるといいと思う。
- ・シンポジウム会場では周りの人と話す場面があったと思われるが、その時 ZOOM 参加はすることがない状態になる。ブレイクアウトルームを使うと、ZOOM 参加の人も対話に参加できる。誰から話すのか切り出すのが難しいので、ファシリテーター（司会）も必要だと思う。参加人数が少ないときに試してみるのもよいと思う。

### 職員から

- ・今回は、舞台を備えたホールが会場で、音楽演奏、シンポジウムと内容も幅広く、配線等に関して、通常の会議、講座とは異なる対応が必要となり、職員だけによる対応では行うことができなかった。今後配信による事業展開を拡充しようとした場合、市民等の協力は不可欠であり、その体制等の確立が大きな課題であると感じた。
- ・上記委員の意見の対応や登壇者等のテロップ表示、チャット、画面共有等の対応について、人員のスキルや体制の課題もあり、行うことができなかった。これらについても、職員のスキルアップに併せ、市民等の協力が必要である。

## 報告事項（５）資料

その他

- ・第３２回やなせ川いかだラリー